

天売猫まつり

7月9日(日)・10日(月)
13:00~17:00 9:00~14:00

天売総合研修センター

天売猫の取り組み、一緒に考えてみませんか
天売島で捕獲し、人に馴れた猫たちの譲渡会を今年も開催します!

譲渡会のほか、縁日や子ども向けのクイズラリー、昨年好評だった足圧マッサージなど楽しいイベント盛りだくさん。猫に興味がある方はもちろん、そうでない方もぜひお越しください。

天売猫の譲渡会

海鳥センターで飼い馴らし中の天売猫や保健所などで保護された猫たちがやってきます。
※猫の譲渡には一定の条件があります。

ごぼう茶先着プレゼント

各日先着10名さまに十勝産の健康ごぼう茶1袋をプレゼント!
[提供] NPO法人 猫たちを守る 十勝Wishの会

天売猫の取組紹介 (パネル展示や映像上映)

天売猫のおはなし会

獣医師さんや猫の保護団体の方からのお話が聞けます。

子ども
〇×
クイズ

猫グッズ
の
販売

フリー
マーケット

クイック マッサージ&足圧

昨年、大好評だったマッサージ師が今年もやってきます。

縁日&懐かしのゲーム

地鶏焼きやパンケーキのほか、ルルロツソを使ったピザも登場予定。昔懐かしいスマートボールで遊んでみませんか。

詳しくは別に配布するチラシやIP端末でご確認ください。

【インタビュー】

天売高等学校 校長
上田 智史氏



天売猫の取組は海鳥もネコも大切にしようという、天売島らしい取組だと思います。生徒たちにも天売学講座などの機会に「命を大事にする取組」として学んでもらいたいです。
ノラネコやドブネズミの対策は手を休めてしまうと、すぐに元通りになってしまうため、継続的に取り組みを続けることが重要だと思います。

天売島のネコ問題 <http://www.teuri-neko.net> facebook <https://www.facebook.com/teuri.neko>

【編集後記】

少し期間があいてしまいましたが、「天売猫だより」第5号発行です。今回は猫の感染症についてお伝えしましたが、猫エイズや猫白血病は名前だけ聞くと恐ろしい病気ですが、正しい知識を身につけることが大切です。7月に島で行う譲渡会でも獣医師さんに来ていただき病気について詳しくお話しをもらう予定です。ぜひご参加ください。
(羽幌町町民課環境衛生係 山田 太志)

「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会

構成団体:
羽幌町役場 町民課
北海道 環境生活部環境局生物多様性保全課
環境省 羽幌自然保護官事務所
公益社団法人 北海道獣医師会
北海DOぶつnet
協力/環境省北海道環境パートナーシップオフィス

天売猫だより

第5号

発行/「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会

発行日/平成29年6月19日



天売猫だよりでは、天売猫の取組をお伝えしています。今号ではノラネコの捕獲状況や感染症のこと、海鳥センターでの天売猫の飼育などについて紹介します。



捕獲されたノラネコ

昨冬からのノラネコの捕獲状況について

昨年12月からノラネコの捕獲を再開し、3月末まで実施しました。その結果、14匹のノラネコを捕獲しています。捕獲されたノラネコはフェリーターミナルなどで随時、捕獲情報の紹介を行ないました。島民からの飼い主希望のなかった猫は海鳥センターなどで飼い慣らしながら、譲渡会を行って飼い主を見つけていきます。

なお、捕獲されたノラネコの約半数が猫エイズや猫白血病といった感染症にかかっていたほか(感染症については次ページ参照)、飼い猫でも感染が確認されており、今後の拡大が懸念されます。感染症にかからない、移さないためにも飼い猫の室内飼いに協力ください。



捕獲作業の様子

今までの取組結果 (平成26年~平成29年5月まで)	
捕獲した数	139匹
島から出した数	126匹
譲渡した数	99匹

現在のノラネコの数は、10匹前後と推定されます。今後も継続的にノラネコの確認を行いながら、捕獲作業を実施します。もし、ノラネコを目撃された場合は天売支所などにご連絡ください。



フェリーターミナルでの捕獲猫情報の紹介

天売猫譲渡会の報告



来場者と握手する猫



抱っこされて心地よさそうな子猫



たくさんの方にご来場いただきました



猫グッズの販売も

海鳥センター

【羽幌町】
4月30日(日)

海鳥センターで行われた譲渡会には、およそ50人が来場し、海鳥センターで馴化中の猫たちとふれ合いました。当日は、センター内で天売猫の写真展も行われていたので、天売猫たちの島での様子を知っていただくこともできました。
残念ながら今回、譲渡を希望する方はいらっしゃいませんでしたが、天売猫に関心を持っていただく良い機会となりました。

船場公園

【留萌市】
6月4日(日)

留萌市の船場公園管理棟で譲渡会を開催しました。およそ300の方が譲渡対象の猫たちを見に来てくれました。会場では天売猫写真展のほか、猫グッズの販売やクイズ大会も行われました。
参加した猫は慣れない場所で、少し緊張していましたが、たくさんの方に可愛がってもらっていました。



猫エイズと猫白血病は、外飼いの猫に特に多い病気です!

猫の感染症について島民の皆さんの理解が必要です!

昨年から、猫エイズや猫白血病といった感染症が島のノラネコや飼い猫に多く確認されています。猫同士のケンカによる感染も非常に多いため、外飼いの猫は特にご注意ください。

猫エイズ

猫エイズ(猫免疫不全ウイルス感染症/FIV)

猫エイズはウイルスの感染によって引き起こされる、免疫機能の低下が特徴の病気です。一度感染すると完治せず、有効な治療もありません。

主な症状

免疫力が低下することにより、下記のような症状が多く見られます。

- 口内炎や歯肉炎を起こしやすい
 - よだれや食欲低下がみられる
 - 傷が化膿しやすい
 - 慢性下痢や、発熱しやすい
 - ちょっとした病気が治りづらい
 - 健康猫と比べると寿命は短い場合が多い
- ※ほぼ無症状で過ごせる場合もあります。

猫白血病

猫白血病ウイルス感染症(FeLV)

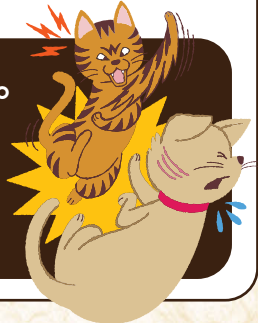
感染すると白血病、腫瘍、貧血や免疫力の低下、腎臓病、流産などいろいろな病気の原因になりますが、予防できるワクチンがあります。室内などで他に猫白血病ウイルス陽性の猫がいる場合には、感染していない猫にこのワクチンを接種しておくのが良いでしょう。

主な症状

感染しても成熟時に防御機能が働き、健康に過ごせる場合も多くあります。

- 何らかの原因で防御機能が働かず、感染状態が4ヶ月以上続くと3~4年以内に死亡する
- 感染した猫は妊娠すると発症しやすい

猫エイズも猫白血病も感染経路のほとんどは猫同士のケンカ。噛まれることにより、唾液から感染します。猫同士が舐め合ったり食器から感染する場合があります。その他は親猫から子猫への垂直感染です。



感染しないための予防策

猫を外に出さない

感染している猫を外に出すことは他の猫にウイルスを移す機会を増やし、地域の猫全体にこのウイルス感染が蔓延する結果となります。※いずれの感染症も猫から人に移ることはありません。※猫エイズは人のエイズとは別の病気です。



飼い猫が感染してしまったら

完全室内飼いにする

猫を外に出すとさらに感染が拡大します。特に発情期に外に出たがる猫が多いことから不妊去勢をして、外に出さないように飼うべきです。

他にも飼い猫がいる場合

感染していない猫とは別の部屋(もしくはケージで隔離)で生活させます。食器・トイレなどは専用の物を用意し、世話をする際にはこまめに手を洗いましょう。

動物病院の先生による、感染症についてのお話や血液検査、ワクチン接種などを行う予定です。ぜひご利用ください。



島で捕獲された天売猫、どうやって人に馴らしているのでしょうか?

海鳥センターでの天売猫馴化の様子をご紹介します!



捕獲され、怯えていたノラネコも、焦らずじっくりと人と接するうちに心を開いてくれるものです。ここでは海鳥センターでの馴化の様子をご紹介します。



1

天売猫飼育の様子。各ケージに天売猫がいる。

「ニャーニャーニャー!」

朝、天売猫がいる飼育室に来ると、お腹を空かせた天売猫たちが「早くご飯をちょうだい!」と言うように声をかけてきます。海鳥センターでの天売猫飼育は、毎日午前9時から始まります。

猫はきれい好きな生き物なので、ケージ内の掃除は念入りにします。排泄物の状態も確認し、しっかり尿を出しているか、便に寄生虫が混ざっていないかなどの健康チェックもします。



2

警戒しながらごはんを食べる天売猫。

ケージ内をキレイにした後は、猫達が待ちに待ったご飯の時間です。人に馴れている猫はすぐにご飯を食べますが、人に馴れていない警戒心が強い猫は、部屋から人がいなくなってから、こっそり食べ始めます。



3

まだ人馴れていない天売猫を撫でている様子。表情が堅い。

床の消毒などをして掃除が全て終わると、時間は午前10時半頃になっています。その後は、天売猫の馴化(人に馴れていない猫を馴れさせること)をします。馴化といっても、特別な訓練をしているわけではありません。おもちゃで遊んだり撫でたりなど、毎日猫とコミュニケーションをとることで、猫は少しずつ人に馴れてきます。



4

譲渡が決まった天売猫。きっと飼い主さんから愛情をいっぱい注がれているでしょう。

猫が人に馴れないために攻撃してきたり、脱走や病気など大変な事もたくさんありますが、飼育するにあたって大切にしていることは、毎日の健康を保つ事と、猫にたっぷり愛情を注ぐことです。現在、海鳥センターには10匹の天売猫がいるので、この猫達の譲渡を目指し、これからも飼育や譲渡会などのお手伝いをしていきます。